

# 聖日礼拝の手引き

日本基督教団 名古屋教会

## 序

「聖日礼拝の手引き」をお届けします。これを作ろうとした直接の契機は、新型コロナウイルスの感染対応により、日曜日の教会の礼拝に集えない方が増えてきたことによります。多くの方がご自宅において、それぞれの仕方教会の礼拝に心を寄せておられます。

日曜日の礼拝に集えなくなった教会員に思いを馳せていたとき、東京神学大学の小泉健先生から頂いたメールに、先生が牧会されている成瀬が丘教会の「家庭における主日礼拝の手引き」が紹介されており、これに触発されました。5月3日の長老会に「家庭聖日礼拝の手引き」（暫定版）を出したところ、「家庭は必要ないのでは」という意見をいただきました。もともと、礼拝式順に沿った手引きも必要という思いがあり、欲張った内容になっていたため当然の指摘でした。そこであらためて「聖日礼拝の手引き」として作り変え、「家庭での聖日礼拝の心得」を付記する体裁としました。日毎の家庭礼拝ではなく、「聖日」としているのは、コロナ禍により、あるいはそれ以前から様々な事情により礼拝に集うことのできない教会員が、日曜日を「聖日」として神に献げる日にしてほしいという願いを込めています。

さて内容について、聖日礼拝の流れに沿って記していますが、「祈り」の項目が詳しくなっています。これは、5月3日の創立記念礼拝より「牧者の祈り」を「司式者の祈り」に変更したことがきっかけとなっています。ここでの祈りは「牧会祈祷」であり、そのために必要と考え得る要素を記しました。しかしこれは、司式の長老だけではなく、これを手にするすべての方が「教会の祈り」とは何かを知っていただきたいという願いがあります。

週の初めの日、イエス・キリストはよみがえられました。聖日の朝は、まことの光である神をたたえるのにふさわしい時です。礼拝を献げる上でのよき手引きになることを願っています。

牧師 田口博之

信仰生活の中心は教会生活あり、教会生活の中心は礼拝です。とりわけ、日曜日の礼拝は大切に、日本の教会では古くから「聖日厳守」という言い方がされてきました。この日を単なる休日とするのではなく、神のために献げるのです。日曜日の礼拝をわたしたちの教会では「聖日礼拝」と呼んでいます。

## 聖日

「安息日を心に留め、これを聖別せよ」(出エジプト 20 : 8)。十戒の第四戒の言葉です。十戒における安息日は、いかなる仕事もせず、神の創造の業と出エジプトの救いを想起し、喜ぶ日でした。旧約聖書での安息日は土曜日にあたりますが、教会はイエス・キリストが復活された日曜日を安息日として守るようになりました。

「聖別する」とは「神のものとする」ということです。神のものですから、他のものと一緒にするのではなく、特別なものとして分けておき神にお献げするのです。ものや場所だけではなく、七日ごとに一日を聖別するのです。

「静まれ、私こそが神であると知れ。／国々に崇められ、全地において崇められる。」(聖書協会共同訳・詩編 46 : 11)。

## 主の日・主日

旧約聖書以来の伝統がある言葉に「主の日」があります。預言者たちは、この日を主なる神が到来される日、御心が成される日、敵が裁かれ救いをもたらされる日として重んじてきました。新約聖書においても、「主の日」を終末の救いの完成の日と、とらえています。

教会はこの言葉を受け継ぎ、イエス・キリストが復活された日曜日を「主の日」と呼ぶようになり、この日の礼拝を「主日礼拝」と呼ぶようになりました。日本基督教団のスタンダードな呼び方でも「主日礼拝」となっています。主の日を集められたわたしたちは、『イエス・キリストは主であると』と公に宣べて、父である神をたたえるのです。(フィリピ 2 : 11)

## ■ 聖日礼拝の流れ ■

### 【招き】

- 1 奏楽（前奏）
- 2 招詞
- 3 讃美歌（招き・頌栄）
- 4 主の祈り
- 5 讃美歌

### 【御言葉】

- 6 聖書
- 7 祈り（司式者の祈り、会衆の祈り）
- 8 讃美歌
- 9 説教
- 10 祈祷

### 【感謝・応答】

- 11 信仰告白（使徒信条／日本基督教団信仰告白）
- 12 讃美歌
- 13（聖餐）
- 14 献金（献金感謝）

### 【派遣】

- 15 讃美歌（派遣・頌栄）
- 16 祝祷（祝福）
- 17 奏楽（後奏）
- 18 報告

これから、礼拝式順にそって説明することになります。わたしたちは礼拝を通して神の救いの出来事を体験します。【 】は礼拝の構造・流れを示すものです。礼拝順序に記された一つ一つに意味があり、礼拝全体を通して意味があることを知ることができるでしょう。

## 1 奏楽（前奏）

奏楽はオルガニストによる神への献げ物です。わたしたちの教会では、牧師と司式者が登壇する前にも前奏がありますが、この時点ですでに席につき私語は慎み、自分自身を神にお献げする思いで黙想（黙禱）します。

## 2 招詞

神の言葉がわたしたちを礼拝に招きます。招詞により、礼拝の心を呼び起します。神の御顔の前に進み出て、神との親しい交わりに入れられる特別な時間です。

これまでは、イザヤ書 40 章 9 節から 11 節（口語訳）が、第 2 聖日の「子どもも大人も共に礼拝」では、マタイ 11 章 28 節の御言葉が告げられてきました。今後は折に触れて、招詞として読まれるにふさわしい御言葉を牧師が選び、週報に記すようにしていきます。

司式者は牧師がする祝禱と同じように、神の恵みの支配を宣言する思いで招詞を読み上げます。

## 3 讃美歌（招き・頌栄）

わたしたちをご自分の民とし、礼拝に招いてくださった神に感謝と栄光をあらわす讃美歌を歌います。一人一人の讃美の歌声は一つの声となり、礼拝する民をお互いに結びつけます。

## 4 主の祈り

主イエス・キリストが弟子たちに教えられた祈りです。神を「父よ」と呼ぶことをイエス様はゆるしてくださいました。合わせて六つの祈りがありますが、前半の三つは、天上にいます神に向けた祈り、後半の三つは、地上の人間についての祈りです。教会の祈りがここに集約されています。

## 5 讃美歌

礼拝の心をまっすぐに歌います。祈りと賛美の宝庫である詩編は、

もともと歌われるものでした。ここでは詩編歌、神の恵みをたたえる歌、教会暦に即した讃美歌などを選んでいきます。

## 6 聖書

説教のない礼拝、聖餐のない礼拝はあり得ても、聖書が読まれない礼拝はあり得ません。旧約の神殿礼拝でも、新約の会堂礼拝でも、聖書朗読は重要な礼拝要素でした。

わたしたちの礼拝では、その日の説教で説かれる聖書の言葉が、旧約と新約から一つずつ読まれます。必ずしも二つのテキストが説かれるということではありません。司式者が朗読する聖書の言葉に耳を傾けましょう。

## 7 祈り

長く「牧者の祈り」、「会衆の祈り」とした時間です。2020年度第二次総会で確認したとおり、これからは「牧者の祈り」を「司式者の祈り」とします。

「会衆の祈り」は、自由な祈りです。自分のためでもいいし、隣人、家族、教会の友、困難の中にある知人を覚えて祈るのもいいでしょう。祈ることが難しい方は、沈黙の時としてください。静けさの中に神の思いが聞こえてきます。

「司式者の祈り」は、司式を担当する長老か牧師による祈りです。この祈りによって礼拝が整えられます。教会の礼拝は「公の礼拝」ですので、ここでの祈りは私的なものでなく、公的な祈りとするなら、「アーメン」と声を合わせやすくなります。会衆の祈りをつつみ込むためにも、祈りの中に次の要素が含まれているとよいでしょう。

### ・ 頌栄と感謝

神の栄光をたたえます。神がわたしたち一人一人の名を呼んで礼拝に呼び出してくださったこと、一週間の歩みを守られ、必要が満たされたことを感謝して祈りましょう。

## ・罪の告白

神の前に進み出るときに、御前が出るのにふさわしくない自分の罪深さを覚えずにはられません。思いと言葉と行いにおいて、神を悲しませてきたこと、神を愛すること少なく、また隣人を愛することも少なく、自分本位に生きてきた罪を言い表します。悔い改めと赦しを願い、主の憐れみを求めて祈りましょう。

## ・執り成し

牧会的な祈りです。他の人々のため、その人に代わって祈ります。礼拝に集えなかった友のため、家族や友人のため、CS、幼稚園、学童、地域のキリスト教学校を覚えつつ、子どもたちや若い人たちと教育のために祈りましょう。さふらん会や「まきば」を覚えて、障がい者や高齢者と福祉のために祈りましょう。キリストの名によって立てられた病院、施設、団体を覚えて、病気の人たちと医療のために、社会の中で弱い立場にある人たちのため、貧しさや差別のなかで希望を失くしている人たちのために祈りましょう。平和のために祈りましょう。すべて教会と伝道のために祈りましょう。

今は新型コロナウイルスの感染拡大が大きな問題となっています。その勢いが止まること、そのために命をかけて働き、特別な労苦をされている方たちのために、苦しんでいる人たちのために祈りましょう。

## ・聖霊を求める祈り

神の言葉を聞き取ることができるように、聖霊がわたしたちを照らして、御言葉を受け取らせてくださるように。聖霊がわたしたちを造り変えてくださるよう祈りましょう。

## 8 讚美歌

聖書の言葉に応答し、牧師と共に説教に向かう思いで賛美します。神はわたしたちに語りかけてくださり、またわたしたちが祈りと賛美によって応答することを喜んでくださいます。頭を上げて、神への賛美を献げましょう。

## 9 説教

プロテスタント教会の礼拝は、説教中心の礼拝と言われてきました。それは誤解を生む言い方ではありますが、間違いのないことでもあります。しかし、説教は「聖書講義」ではありません。説教の聴き手が慰められ、力が与えられ、新しくされることを求めて説教します。週ごとに説教に向かう牧師のためにも祈ってください。

「神の言葉の説教は神の言葉である」という第二スイス信条の命題があります。前者の「神の言葉」は聖書を意味します。後者の「神の言葉」は今ここで聴く神の言葉です。神は説教を通してご自分がどなたであるかを知らせてくださいます。神の御心はわたしたちの罪を赦し、救うことにあります。信仰者は、説教で語られる神の言葉に養われ、まことの命を生きることができるのです。

## 10 祈祷

説教に引き続き、牧師が導かれるままに祈ります。神は説教を聴いたわたしたちの応答を求めておられます。神の恵みにふさわしく生きられるよう祈りの言葉に耳を傾けてください。

加えて、ここでも牧会的な執り成しの祈りを加えます。特に今は新型コロナウイルスの感染状況をとらえつつ祈りを続けています。

## 11 信仰告白

説教を通して御心を語ってくださった神に応えて、わたしたちの教会の信仰を使徒信条により、聖餐を行う礼拝では、日本基督教団信仰告白により、わたしたちの信仰を確認します。この世に向かって、わたしたちの信仰を宣言する思いをもって言い表しましょう。

## 12 讚美歌

説教への応答の意味合いの強い讚美歌が選ばれています。神からいただいた喜ばしい知らせに対して、喜ばしい歌声を響かせます。神の言葉に対してこだまを返すようにして、わたしたちのうちに引き起こされた感謝を神にささげましょう。



### 13 聖餐式

時を定めて行うな礼典です。月の第一の聖日、クリスマス、聖木曜日、イースター、ペンテコステなど特別の日に執り行っています。配られるパンはイエス・キリストの体を、杯（ブドウ液）は、イエス・キリストの血を象徴します。わたしたちの主イエスは、わたしたちの罪をご自分のものとして引き受け、十字架で死んでくださいました。しかし、主は三日の後によみがえられ、わたしたちに罪の赦しと永遠の命とを与えてくださいました。

聖餐は洗礼の恵みを確かめる時ですので、まだ洗礼を受けておられない方、信仰告白をされていない方には、パンと杯を取ることを控えて頂いています。しかしそれは排除ではなく、救いへの招きです。わたしたちは聖餐を通して、主の晩餐の時の契約の言葉、十字架と復活の御業を想起します。聖餐は見える御言葉として主に結ばれた喜びを体で味わうことができます。

### 14 献金

説教と聖餐によって表されているように、主はわたしたちのためにご自分のすべてを献げてくださいました。この恵みに応えるために、わたしたちの感謝と賛美は献身に至ります。「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。」（ローマ 12：1）。

神に祈り、神を賛美しつつ、それぞれが置かれた場所で、神の御心を求めつつ誠実な歩みを重ねることが献身です。献金はそのようなわたしたちの「感謝と献身のしるし」としてささげるものです。

「まごころこめ ささげます このたからと このわたし」と感謝と献身のこころを、讚美歌 64 番の歌詞に乗せて歌います。

### 15 讚美歌（派遣・頌栄）

礼拝に集められたわたしたちは、礼拝からそれぞれの持ち場へと遣わされます。礼拝を閉じるにあたって、わたしたちは、礼拝の恵みに感謝して、もう一度神の栄光をたたえる歌を歌います。

## 16 祝祷

新約聖書に「ユーロギア」という言葉があります。神がわたしたちに「ユーロギア」を告げてくださるとき、この語は「祝福」と訳されます。わたしたちが神に「ユーロギア」を献げる、というとき、この語は「賛美」と訳されます。礼拝は、神とわたしたちが互いにユーロギアを告げ合う時です。

礼拝の最後に告げられる「祝祷」は、祝福を求める祈りというより、神の祝福が宣言される時です。ですから牧師の言葉ではなく、民数記 6 : 24～26 の「アロンの祝福」と、I コリント 13 : 13 「三位一体の神の名による祝福」を用いています。

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし

あなたに恵みを与えられるように。

主が御顔をあなたに向けて

あなたに平安を賜るように。」

「主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、

あなたがた一同と共にあるように。」

アーメン

## 17 奏楽（後奏）

礼拝全体を通して与えられた恵みを振り返り黙想します。礼拝からそれぞれの持ち場へと送り出されてゆく前奏曲でもあります。

## 18 報告

礼拝プログラムの外に位置づけられていますが、決して事務的なものではありません。教会（礼拝）共同体としての大切な内容を伝えるものです。時に教会の交わりが豊かに表され、心なごむひと時にもなるでしょう。

## 「家庭での聖日礼拝の心得」

新型コロナウイルス感染の広がりにより、様々な事情で聖日礼拝に集うことができない方がいます。願わくは教会の礼拝を覚えつつ、それぞれの家庭で同じ時間に礼拝を守ることができることを願っています。

一つの方策として、LINE 無料電話による音声配信を示しました。緊急事態宣言が出ている間は継続します。以下に記す心得を用いてください。これに参加できない方のためには、週報と説教原稿をFAXや電子メールにより、礼拝前に送信するようにしています。

教会の礼拝堂は、礼拝をするために神に献げられた場所です。家庭礼拝をするため、専用の部屋を持つことは難しいでしょう。できるだけ礼拝する場所の物を片づけ、聖書と讃美歌を用意し、礼拝のために備えます。

教会に出かけるときには、礼拝にふさわしい服装を身に着けるでしょう。家庭礼拝においても、その姿勢を忘れてはなりません。主イエス・キリストは、わたしたちの家庭の主でもいてくださいます。わたしたちの家を祈りの家とするために、家庭礼拝をささげましょう。

聖日礼拝の時間では、どうしても不都合という方がいらっしゃるでしょう。どこか別の時間を聖別して、礼拝の時間を確保していただくことを願っています。

### 1、黙想

自分自身を神にお献げする思いで、黙祷をもって礼拝を始めます。

### 2、讃美歌

教会の歌声に声を合わせる思いで讃美歌を歌いましょう。歌うことが難しい場合は、歌詞を読み上げます。大切なのは言葉です。

### 3、聖書朗読

自分の魂にしみこませるように、声に出してゆっくり読んでみます。

朗読された言葉を自分の耳で聴くのです。

3、 祈り

自分の思いを神の前に注ぎ出すように祈りましょう。家庭礼拝で二人以上いるときには、だれか一人が代表して祈ります。

4、 説教

説教原稿を、聖書朗読と同じように、声に出して読んでみてください。外から語りかける声が聴こえてきます。説教原稿のない方は、与えられた御言葉を黙想してください。すべては聴くことから始まります。

5、 聖餐

家庭で聖餐を祝うことはできません。しかし、牧師は家庭に訪問し、共に聖餐を祝うことを望んでいます。病院や施設でも環境さえ許せばそのようにしたいと思しますので、申し出てください。

6、 献金

教会での礼拝に出席しているのと同じ思いをもって、献金を聖別してください。

7、 黙想

家庭礼拝で与えられた恵みに感謝し、新しい思いで1週の歩みを始めましょう。

**聖日礼拝の手引き**

発行日 2020年5月10日

発行所 日本基督教団名古屋教会

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-4-5

電話 052-971-4940

発行人 名古屋教会長老会

牧師 田口博之